

平成 28 年度 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 生物資源学研究科
氏 名 立花義裕

活動テーマ	地元テレビ局や気象予報士との協働による三重の『気象力』向上プロジェクト
実施期間	平成 28 年 7 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 三重テレビの気象担当の気象予報士のキャスター等と連携し、定期的な勉強会を開催した。三重大学を主会場として 8 月に開催された国際地学オリンピックについての三重テレビの報道や特別番組制作に協力した。 (2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり） 勉強会を端緒として，三重テレビにて気象情報に関連する月 1 回の新番組「三重の風紀行」を組んでいただける事となった。この番組では，三重大学の関連教員が出演する。三重大学での気象・気候関係の研究成果などや気象・気候の基礎知識について，多くの県民へ定期的に発信する場をつくることに至った。 (3) 共同実施者との連携状況 約月 1 回の頻度でキャスター等とで勉強会を開催している。 (4) 大学の教育・研究成果のかかわり この活動を端緒として，気象を始めとした地球科学関連番組が複数回放映されたことで，三重大学には地球科学系の研究グループが存在していることを県民へ知っていただく機会を得た。これは，我々の研究グループが所属する生物資源学部・共生環境学科の入試効果にもプラスに作用したと思う。また，テレビ局のキャスターとの密な連携により，地域が求める気象情報・気象研究・防災研究は何か？など，日頃の研究者内での活動だけからは得ることが出来ない知見を得ることが出来た。 (5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等） 外部講師（気象庁）を招いて「今冬のセンター試験日の三重県の大雪について」公開のセミナーを実施した。（@三重大学，1 月，約 20 名） (6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について 勉強会を通じて，将来的に気象や防災関連の番組に貢献することを当初の目的としていた。幸いにして，月 1 回の新番組「三重の風紀行」が今年の 4 月から始まった。これは当初の予想よりも遙かにスピードが速い展開での具現化した成果である。